

まちの話題



10/13

地球環境の改善へ 植樹で貢献

十勝地区トラック協会が鈴蘭公園でトラックの森づくり植樹式を行いました。トラック運送業界の環境を守る取り組みの一環として、森林の保護育成による地球環境改善を目的に、エゾヤマザクラとヤマモミジ、合計20本の植樹が行われました。小野町長は「この素晴らしい取り組みを今後も継続していただき、皆さんの努力が実り未来の地球環境が少しずつ改善していくことを期待したいです」と感謝の気持ちを述べていました。



10/13

道民カレッジ事業 4000単位を取得しました

元小学校教諭の坂本春恵さん(北蘭西)が、道民カレッジ(道教委主催:学長・鈴木知事)4000単位の取得に対し、鈴木学長から奨励賞が贈られたことを福地教育長(右)に報告しました。坂本さんは帯広大谷短大などが主催する講座を積極的に受講。「音更や十勝は生涯学習が盛んな地域であり、発見がたくさんある。今後は単位にこだわらず、少しずつ長く続けたい」と学びへのさらなる意欲を示していました。



10/20

地場産の食材で おいしい和食づくりに挑戦



十勝川温泉第一ホテル総料理長の吉田真二さんを講師に迎え、ふれあい交流館で和食づくり教室が行われました。メニューは、肉じゃがと茶わん蒸しで、調理室は「砂糖とみりんを入れ忘れた～」など終始和やかな雰囲気に包まれていました。辻恵子さん(北宝来1)は「基本から教えてもらえたので参加して良かった」と笑顔で感想を語っていました。

10/7

お母さんと リズムに合わせて



サンドームおとふけで幼児たいそう教室が始まりました。この日は20人の親子が参加。自己紹介をした後、ウサギやカエルのまねをしながらランニングやダンスをしたり、2つのチームに分かれてカードの枚数を競うゲームを行ったりしました。織田華帆ちゃん(4)と参加した母親の愛未さんは「少しハードでしたが娘が楽しんでいたので良かったです」と話していました。

10/30

音更町のことを たくさん学びました



共栄中学校の2年生を対象に講話「音更町ってどんな町？」が開かれました。講師の月居謙介さん(町産業連携課)は、町の農産物や特産品、モール温泉の特徴などを紹介。生徒たちは、真剣に耳を傾けていました。司会を務めた長野斗和君は「今日の講話を参考にみんなで地域のマップを作ります」と知識を得ただけで終わらせない積極的な姿勢を見せていました。

10/29

家族に心配を かけたくないで



運転免許証自主返納の出張窓口が共栄コミセンに臨時開設されました。帯広警察署と役場が連携した窓口の開設は同警察署管内初。この日訪れた土門登美子さん(83)は「お嫁さんが心配するので自主返納を決意しました」と話していました。なお、夜間の危険を防止するため、申請者へ夜間反射材が配布されました。